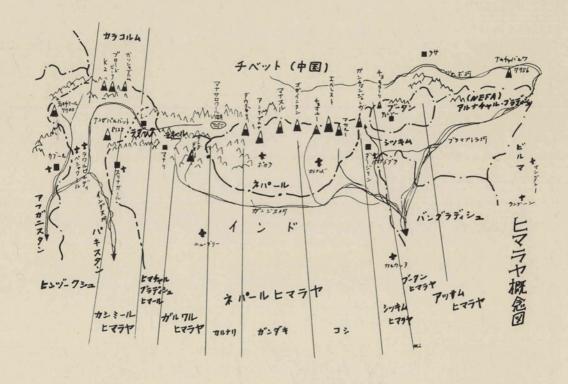
ヒマラヤ

HIMALAYA

ヒマラヤ・ツアー特集号

1976年2月号



日本ヒマラヤ山岳協会——HAAJ

HIMALAYAN ALPINE ASSOCIATION OF JAPAN

実に、ヨー ルの大きさと心の安らぎを与えます。 の足で踏みしめ、 東はブー ロッパ タン・シッキムから、 自分の肌で感じるワイルドなトレッキングは、 ・アルプスの二倍です。 西はガル ワール・ラダック、そしてカシミールへと三千キロ。 雄大な八千メートル級の巨峰の連なるヒマラヤを自分 どのレジャーも及ばないスケー

ノー・ 公書
しさに悩み、たまには仕事から逃げしさに悩み、たまには仕事から逃げ出したいと思っている都会のビジネ出したいと思っている都会のビジネスマン達。彼らにこのヒマラヤ山麓の景観。斜面一帯を華やかに色どるで園の美しさ。海抜4865m、常に雪塊や氷塊をたたえているアルハルウット湖の神秘的な静けさ。すべてが彼らの求めている超現実的な世界です。の求めている超現実的な世界です。

る人の心に衝激にも近い感動を与え 高人の心に衝激にも近い感動を与え 高人の心に衝激にも近い感動を与え 高人の心に衝激にも近い感動を与え 高人の心に衝激にも近い感動を与え 高人の心に衝激にも近い感動を与え が (世界第3位)やエベレストの偉 ディレストの皇むカンチェンジュンナー・ビルから皇むカンチェンジュンナー・ビルから皇むカンチェンジュンナー・ビルから皇むカンチェンジュンナー・ビルから皇むカンチェンジュンナー・ビルから皇むカンチェンジュンテー・ビルから皇むかとを表している。

にはおきません。

ダージリンからの途中にあるカリンシッキム モ宮を中心に神秘の国が、静かなた 大げまいを見せています。 たずまいを見せています。

ガルワル・トレッキングがルワル・トレッキングがルワル・トレッキンろでしょう。

なリゾート。買物も楽しい思い出にポンの町も、長期滞在に向いた静か

mをこす山岳湖への旅が楽しめます。 年7月から外国人により、1974 ナンダデビー(781-6 m)や、ガン ジス川の源流近くにあるヒンズー教 ジス川の源流近くにあるヒンズー教 が地でなるトレッキングや、 あいばれるトレッキングや、 は、デリーの北東約

世界の35都市をネットする-

ネットする 東 京●千代田区有楽町日比谷パークビル〒100☎214-7631 大 阪 ●東区備後町松豊ビル〒541 ☎264-1781 名古屋●中村区堀内町ホテルニューナゴヤ〒450☎581-5876 広 島●鉄砲町1-20第3ウエノヤビル〒730 ☎28-7211



A) ヒマラヤ全体の地域区分

「"ヒマラヤ"という言葉はサンスクリット語の複合語で、ヒマ(Hima)は雪、アラヤ(Ala-ya)は、居所、つまり「雪の居所」という意味である。正しく読めば、ヒマーラヤ(Himālaya)である。インドの平原から眺めて北峰に揮く気高い雪の峰を素朴に「雪の居所」と呼んだのは、信仰深い住民の当を得た名付けかたといえよう。英語ではHimalayaと書き、第2と第3シラブルにアクセントをおき、最後の"a"は発音されないこともある。ネパールで、ある人達はヒマール(H-imāl)と呼んでいる。」と、故深田久弥氏は「ヒマラヤの高峰・第1巻」の最初で述べている。

普通, ヒマラヤと呼ばれている地域は、東はプ ラマプトラ河中流の大曲から, 西はインダス河の 大曲に至る長さ約 2400~2500km 巾約 200~300km の山域をさしている。この長さは、わが国でいえ ば北は北海道から, 南は九州までが大体入ってし まう距離になる。 この広大な地域を、 普通は便宜 的にいくつかに区分して考えている。区分の仕方 には主に地形によるものと, 地質によるものがあ るが, 登山者は, 一般に地形区分を用いている。 但し、この地形による区分も、K. Mason、P.P. Karan などの学者により多少異なる。ここでは、 登山者に一般的に用いられている K. Mason の地 理区分を紹介しておこう。注意すべきは、この Masonのヒマラヤ区分の中には、カラコルム、ヒ ンズークシ,パミール,天山,コンロン,大雪山 脈などは含まれていないが、故深田久弥氏は、こ れらアジアの高峰をすべて含めて広義のヒマラヤ と解釈している。

<第1図>を見てわかるとおり、Masonはヒマラヤ山脈を山脈の軸の方向に垂直に切り、6つの区域に分けている。

(1) アッサム・ヒマラヤ

一番東にあり、ヒマラヤ中でも最も未開、未知の地域である。山までのアプローチが長く、モンスーンの影響も多大であり、政治的にも入山が困難である。公式的に登頂された山はまだないはずである。最高峰はナムチャ・バルワ(7756)とされ

ている。探検的価値がまだ残っている地域である。 (2) ブータン・ヒマラヤ

アッサム・ヒマラヤ同様,入国が困難であまりよく知られていない。日本人としてこの地域に長期滞在をしたのは1958年の中尾佐助氏,1967年の東大植物調査隊(原寛隊長),1978年の小方全弘氏くらいであるが,いずれも登山はしていない。今までに、この地域で登頂されているのはチョモラリー(7314)くらいであろう。クーラ・カンリ(7554)の他,7000m峰がいくつかある。

(3) シッキム・ヒマラヤ

ヒマラヤ区分のなかでは一番小さな区域であるが、7000m以上の高峰を20座近くも含んでいる。有名なものにカンチェンジュンガ(8616)、ジャヌー(7710)などがある。かつては、イギリスが支配権をもち、ヒマラヤ山中ではもっともよく知られ、入山しやすかった地域であったが、アッサムやブータン同様、現在では一般的に入域は困難である。(4) ネパール・ヒマラヤ

ヒマラヤ全長の約3分の1を占める最大な地域で、世界中の14近くある8000m以上の高峰のうち7座がここにある。また、7000m以上の高峰は大体80近くあるが、その大半はすでに登頂されてしまった。現在のところは特別な個所を除き入国は容易にできる。面積は約14万平方キロメートルで、北海道の約2倍あり、人口は約1000万人である。

(5) ガルワール・ヒマラヤ(クマオン・ヒマラヤ) ネパールの西の国境からインダス河の支流, サトレジ河近くにあるシムラまでの区域で, シッキムと同様。戦前は入山が容易だったため早くから開けた。最高峰はナンダ・デヴィ(7817)で 8000 m峰はない。わが国最初のヒマラヤ遠征隊だった立教大のナンダ・コット(6867)もここにある。

(6) パンジャブ・ヒマラヤ(カシミール・ヒマラヤ) シムラからインダス河の大曲までにある山脈で 最高峰は「魔の山」と呼ばれ、ヘルマン・ブール の単独登頂で有名なナンガ・パルバット(8125)で、次がヌン・クン(7135)である。この二座以外に 7000 m以上の高峰はない。山へのアプローチが短 かいので、最近は日本からの入山者が多い。

以上がヒマラヤ全体の一般的な地域区分である。 次に、地形的な特徴をつかむために、ヒマラヤ山脈の主軸方向を直角に切ったときの断面の様子も 〈第2図〉にあげておこう。スイスの地質学者T。 Hagen は、中央ネパールの断面を便宜上7~8に 分けて考えている。

以下は、それについて簡単に付記しておこう。

- a) Tarai (or Terai) 南部のインド平原のつづきで標高約 200 mの 地域
- b) Siwalik 1500m前後の丘陵帯で、西はカシミールから、 東はネパールの東の境までのびている。
- c) Dun
- b) Mahabharat Lekh 標高約3000mのヒマラヤの前山山脈を形成す る。
- e) Midlands (中間地帯) マハバラートとヒマラヤ主脈との中間の地域で、標高約 600~2000 m 前後でカトマンズ盆地、ポカラなどはここに属している。人口密度が一番高いのもこの地帯である。
- f) Himalayas
 6000~8000mの高山部

 中央アジアの山及(Qieat Himalaya)
 「デランスのできる」
 「フランスのできる」
 「カントルルートでラヤ」
 「カントルルートでラヤ」
 「カントルルートでラヤ」
 「カントルルートの一下でする。「アンスのできる」
 「アンスのできる」
 「アンス

2

- g) Inner Hi malayas (ヒマラヤ奥地)
- h) Tibetn Marginal Mountains (チベット辺 境山地)

標高6000~7000mの高原地域

B) ヒマラヤの気候

長さ 2500km, 幅 200~300km, 標高 200~8000m にも及ぶヒマラヤ地域の気候を一口に説明するこ とは、非常に困難なことである。東のブータンや アッサム地域と,西のガルワールやパンジャブ地域。 南のタライ地域と、北のチベット辺境山地、標高 200mの地域と、標高8000mの地域とでは、その 気候の相異も多大であると考えなければならない。 実際にこのヒマラヤ地域には、バナナやマンゴー などの植物の生育する亜熱帯の地域から米やトウ モロコシのできる温帯地域、麦作の行なわれてい る冷温帯, 亜寒帯の地域, 年中氷, 雪に覆われた 岩石だけの山岳地帯である。寒帯の地域まである。 また、同じモンスーンの影響も非常に強くうける アッサムやブータンの地域から、ほとんど影響を うけない,パンジャブ地域まであり、これまた、 多様であると考えなければならない。

インド・ヒマラヤへどうぞ

S. クマール (Kumar)

(以下は去る11月14日(名古屋)、21日(広島)でおこなわれたヒマラヤ集会の講演要旨です。)

ヒマラヤは常に人間を魅惑し、ヒンズー教の神話によれば、そこには神が住んでいるといわれています。数世紀の間、ヒマラヤの奥深いところはヒンズー教の精神的な安息所でしたが、いまでは多くの登山者やトレッカーはヒマラヤの壮麗さを味わうことができるようになりました。

<ガルワル>

ヒマラヤの神秘をまず,バドリナード寺院のあるガルワルへの旅から説明することにします。

デリーから夜行列車でハルドワにむかい、翌朝到着します。そこからさらに12時間のバスの旅でバドリナートへ着きます。バドリナートの聖なる寺を見物したあとで、Vally of blower、"花の谷"にトレッキングにむかいます。この谷は8月中旬から9月中旬のシーズン中は、沢山の花が咲きほこり、忘れられない想い出となるでしょう。

クアリ峠 (Kuari pass)を経てルプクンド (Roopkund)湖へのトレッキングは 500年ほど前に1500人の軍人が雪崩で消え去ったという地点を通ってゆきます。峠の途中からハッティ・パルバット (Hathi Parbat)が見えます。カメット (Kamet)やマナ (Mana)の山群も望むことができます。峠からはチョウカンバ (Chaukhanba)が美しく見えます。ニルカンタ (Neelkantha)とその連山が 6000~7000 mの高さにそびえています。もっと高く冒険的なところへのトレッキングなら、ナンダデビーの内院へのトレッキングがあります。けわしい内院へのルートが続きます。無名峰の数々がありますが何といってもナンダデビーは他を圧倒しています。ナンダデビーは東峰と西峰があり、もし望むならこれら内院の 5000~7000 mのピークへ登ることができます。内院からはデビスタン I 峰と II 峰も見えます。この山は比較的容易に登れますが、面白い山登りになります。

ナンダデビーの内院への途中でダランシィ峠(Dharansi)を越えますが、そこがナンダデビー内院への唯一のルートです。内院の北方にはチョウカンバ西峰、東峰、カランカや無名峰の数々が見られます。インドの人たちはあなた方を暖かく迎えてくれます。ぜひ、ご自身がガルワルを訪れてみて下さい。

<テリ・ガルワルなど>

ガルワルではテリ・ガルワルと呼ばれるもう一つの地域があり、ここにも沢山の山があります。Black Peak (黒い山) やWhite Sail (白い帆) などです。

ガルワルを東へ移動していくとクマオン・ヒマラヤ(Kumaon)になり、ここではピンダリ氷河がよく知られています。この氷河をベースキャンプとしてこれまで沢山の遠征隊が周辺の山々に登っています。ナンダコートやパワール・デワール(Pawal Dewar)も見られます。

デリーから12日間の日程でピンダリー氷河を訪ねることができます。もし、もっと日数に余裕があればカフィニ氷河 (Kafni) やスンダル・ドンガ (Sunder Dung) の谷を訪れるとよいと思います。そこからは沢山の大きな山々、テァルコテ (Therkote) などが見え、バイドリ・クンド (Baidri Kund) という山岳湖もこのスンダル・ドンガの谷の中にあります。

<クル・マナリ地方>

クル・マナリ地区は日本人トレッカーや登山者が沢山訪れています。 1975年に国際婦人年を記念して女子登山隊がこの地域のマカルベー (Makarbeh, 6060m) に登りました。マカルベーへは鋭い尾根をルートにして登頂しました。ラダキー (Ladakh) やハヌマンティバ (Hanumantiba) なども見え,その他ラホール,スピティ地区の山々も見えます。

マナリの谷からチャンバへむかい,バルギ谷へ入ることができます。途中,5000mのサエト峠(Saet)があります。5100mにあるクー峠(Kugh)などの峠へも行くことができます。サチ峠(Sach)から

キシュトワール地区に入りそしてさらにカシミールを訪れることができます。

<カシミール>

カシミールに入ったらぜひハウスボードへ泊ることをおすすめします。そして、コラホイ氷河(Ko-hahoi)へのトレッキングに出かけて下さい。

第1日目はアルー (Aru)まで行きます。 2日目は美しいライデルワート泊。最低5日間を見込んで下さい。コラホイ氷河がルートになります。この氷河はあのエベレストのクンブ氷河に似ているところから普通ミニ・クンブ氷河と呼ばれています。カシミールには沢山の湖や峠をたずねて歩く週遊トレッキングコースもあります。

<ダージリン地方>

東方のヒマラヤに興味をおもちならカルカッタからダージリンに飛んで下さい。サンダクプーやファルト (Sandakphu, phalut)へのトレッキングは8日間の日程です。このコースからは巨大なカンチェンジュンガが眺められます。ザンダクプーのトレッキングコースの途中からすばらしく雄大なエベレストが望めます。

ネパール・ヒマラヤもすばらしいところです。ダウラギリやエベレストなど沢山の山々がそびえています。

どうかインドやネパールのヒマラヤを訪れ、安全に登山やトレッキング、そして、その地に住む人々の暖かい心に触れて下さい。 (文責 沖允人)

– ヒマラヤ・ミニ・ガイド –

秘められたる国――ブータン・アッサム・シッキム

チベットを思わせる人々や寺院、そして自然 が横たわっているのがこの地域です。入域許可 の取得に時間がかかりますし旅行も楽ではあり ませんが、それだけの苦労のしがいがあります。 出発3ヵ月前までには手続を始めて下さい。

ヒマラヤの展望台 -----ダージリン---

真っ白に輝くヒマラヤの山々が、朝な夕なに ピンクやゴールドに移りゆくさまは、まさに壮 厳ともいえるほど。世界で最も広い眺望をもつ のがダージリンです。

町にはイギリスやインドの上流階級の別荘が あちこちに点在し、近隣のネパールやシッキム、 チベット、ブータンからは国境を越えて様々な 服装の人々がバザール(市場)に集まります。

ダージリンはカルカッタから 670 km。飛行機でバグドグラまでいき(1時間), 車か, 小さい汽車に乗ります。海抜 2,134 m のダージリンへの道のりは, 深い木立や一面緑のティー・ガーデンをぬっていきます。

カンチェンジュンガを眺めるトレッキングは ダージリンから往復 6 日間位必要です。

神々の渓谷 ―――クル・マナリー

カシミールのすぐ南、ヒマチャル・プラデッシュ州のクルとマナリはヒマラヤ山麓の溪谷。 一帯を緑深い木々や美しい花々がおおい、小鳥 たちがさえずっています。

果樹園では、3~7月にいっせいに花開き、たわわな実をつけます。リンゴ、アプリコット、ナシ、桃、プラム、桜んば等、これほど神に祝福された溪谷は、他にありません。溪流でマス釣りをしたり、ハイキング、ピクニックには最適です。

クルでは、10月ににぎやかなダセラのお祭り もあります。

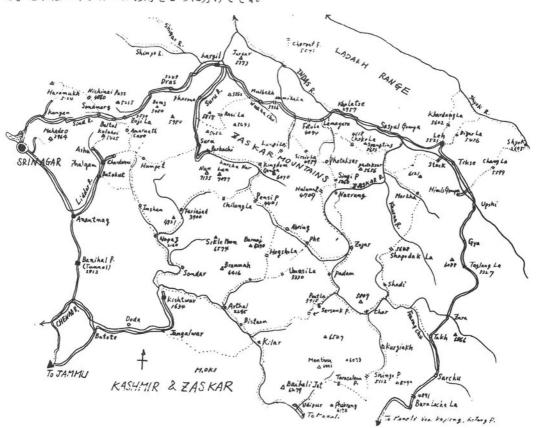
砂漠と雪山の国 ―――アフガニスタン

東西文明の接点といわれているアフガニスタンはインドやネパールとは違った風景が広がっています。車道も案外に発達していますので短期間でサラング峠やバーミャンを訪れることができます。ヒンズークシュの山々が美しく眺められます。時期は6~9月がよいでしょう。

ニューデリーから週3便の飛行機があり約3 時間で首都カブールに到着します。 ラダックを含むジャンム・カシミール州は、インドで大きな州の1つであり、北に位置し気候がとても変わり易く、ジャンムは暑く、ラダックは寒く、カシミールの谷は涼しい。これらの状況は人々の習慣や衣服にとても影響している。カシミールの谷に住む人々は、小柄で古典的な容姿である。婦人は小さな帽子をかぶり、ショールを肩にかけ、男性はふちのない帽子をかぶっている。カシミールのポピュラーな飲み物はカシミール・ティーである。しかし、カシミール・ティーはインドのどこでも飲むお茶とは全く違う。炭酸ソーダーを加え、でも飲むお茶とは全く違う。炭酸ソーダーを加え、沸騰させ、それから好みに応じてミルクを加える。これはピンク色になる。砂糖の代りに塩を入れるのである。

カシミールにはたくさんの湖がある。ダル湖 (DAL LAKE) はその中で最もよく知られている。 これはスリナガールの町を2つに分けてそれ

を継いでいる古い橋がある。湖にはあちこちに島 があり、湖にはカシミール人の家であるハウスボ ートがたくさんある。ハウスボートは観光シーズ ンには借りる事ができ、これには居間、寝室、風 呂,食堂など必要なものは全て揃っている。ある ハウスボートにはきゅうり、メロン、くりのよう なものが裁培してあり、まさに浮ぶ菜園である。 他にシカラ (Shikaras) と呼ばれる小舟で果物や 野菜を持ってくる。これらは平底の舟でカシミー ル独持のものである。朝早くハウスボードの間を 果物や野菜をたくさん積んだシカラが静かに進み、 時々、鳥やあひるをたくさん積んだシカラも見る ことができる。カシミールで他に有名な湖はウラ ール湖 (Wular Lake) である。これはアジアで一 番大きな淡水湖でジェラム川 (Jhelum) に注いで いる。



秘境ラダックを訪ねる旅

" ラダック"古代仏教文化の栄え、今も栄えているところ、現代の桃源境、チベットに全くよく似たところです。

ラダックへ行く飛行機便はなく、標高3425mのラダックの主都レー (Leh)へはスリナガールから436 kmを車で走ります。途中には3.474mのブジ・ラ、4265mのフォテ・ラなどという峠があります。 片道2日間かかり、最初の日は、スリナガールから205 kmのカルギルで泊ります。ホテルはなく、テントかレスト・ハウス泊りとなります。レーでも同様です。

レーでの観光はジープか普通のタクシーです。 ラダック地方は砂漠のような風景のむこうに雪 山が見えるという実に雄大な眺めです。ザンスカ ールの5,000m級の山に登ることができます。古い お寺のいくつかや、ラダックの旧王宮を訪れるの も興味深いことです。チベット国の土産物も手に 入ります。人なつこいラダックの人たちはラダッ ク・トッピという一風変った帽子をかぶり、長い そでとすそのある着物を着ています。大変親切で, ラダック茶という塩とバターの入ったお茶やビー ルのような酒"チャン"をふるまってくれます。 ジョオ (JHO)という高処で生きている牛は荷物 を運び雪の山を越えていきます。ラダック犬又はチ ベット犬というチンに似た犬も可愛いものです。 秘境ラダックを訪ねる旅は終生忘れ得ぬ想い出 となるでしょう。

(注) ラダックは地区全体が標高が高いので富士山などで異常を感じる方は遠慮して下さい。必ず医師に相談してから参加して下さい。

第1日目 スリナガール→カルギル, 車, 朝食後 ベントウを車に積んで出発。草原のソナマルグ, パンチャール山脈を越え 205 km走ってカルギルの 町へ着く。約10時間の旅。テントまたはレストハ ウス泊。

第2日目 朝食後,ベントウを持って 231km 10時間のラダックの主都レーへの旅に出発。レーでは小さいホテルかテント泊。祈とう車(マニ車),

祈とう石(マニ石), チョルテン(仏塔), そし て家々には祈とう旗(タルチョー)がはためいて います。丘の上にはバターの灯で明るくした, よ く保存されたゴンパ (お寺)があります。老人は 奇妙な帽子をかむって, マニ車をいつもまわして "オン・マニペドメ・フム"(お教の文句)をと なえています。若者はヤクという高処牛を使って 田畑をたがやしたり, 山から冬のためのマキを集 めて来たりしています。実に印象深いところです。 第3日目 早い朝食をすませカルー(KARU)へ 35kmのドライブです。そこから1時間歩いてへき ス (Hemis) ゴンパへ行きます。一番古くて立派 なお寺です。6月にはグル・パダマ・サムハバア の記念のために仮面のおどりが催されます。午後 はレーの街で土産物のショッピングです。(ショ ール, タンカ, カーペット, トルコ石)。

第4日目~ シェーとシャンカール・ゴンパへ行きます。シェー・ゴンパには銅と金めっきした高さ24mの仏像があります。シャンカール・ゴンパは黄帽派に属し、4本の手、4本の目、4本の足をもった仏像などがあります。近くのラダック王宮へ行きます。夕方にはラダック人の家を訪ね、"チャン"を飲みラダック人の生活に触れます。帰路は、レー→カルギル、カルギル→スリナガールと2日がかりで往路を帰ります。

HAAJアッサム・シッキム 調査隊々員募集 51年12月26日発 28日間。 定員 20名

カルカッタからアッサムの中心地シーロンへむかいます。ここを起点とし、"一角さい"で有名なカジランガ、ブータン国境のマナスの野性動物園などを訪れます。また、チベットを源とするブラマプトトラ川の大河、アルナチャル(旧 NEFA)の雪山などの展望、アッサム原住民の生活を調査するなど"知られざるヒマラヤ山麓"の旅を楽しみます。コースについては隊員の希望で決定いたしますが、日程に余裕があればダージリン、カリンポン、シッキムを訪れることもできます。アドバイスはHAAJ東部ヒマラヤ研究会がお手伝いいたします。申込〆切5月末日。費用約40万円。

ダウラギリの雄姿を見る

ポカラのホテルを起点として、アンナプルナ山 群を眺めたり、湖で遊んだり、チベット人部落を 訪れたりして2~3日を過します。民俗・芸術な どに興味をもたれる方はカトマンズ、ポカラでそ れぞれ1週間いてもまだ日数が足りないと感じら れるはずです。

タウラギリの勇姿に接しようという方々はゴラ パニの峠へむかいます。強行5日です。

第1日目はカトマンズからポカラ (830*m*) にバスかタクシーまたは空路で着きその足ですぐ歩き始め,スイケットに泊ります。ポカラ 3 時間ャンザ (チベット人の村) 2

時間スイケット(1,190 m)。

第2日目。ノーダラ (1,470m)の丘に登りさうらに、ルムレイ (1,600m)まで登ります。足に自信をでいたったととである。というない方はことを起点。マに見いてを歩きなどのととではいとですがいる。スイケックラ(1,100m)まトレンタテ(1,100m)まトレックラ 4時間レンタテ、3時間ビンタテ、3時間ビンタテ、5

第 3 日目。 この日はかなりきつい登りです。 ビレタテ 3 時間 ヒレ (1,490m) 3 時間 ウレリ 5 時間ゴラ・バニ (2,770m)。

第4日目。ゴラ・バニから少し登ると峠に着きます。ここからニルギリ峰(7,223m)が見え、もう少し先に下るとダウラギリ【峰(8,172m)の勇姿に接することができます。この日にウレリまで戻っ

て泊り、5日目ルムレイ。6日目にポカラに着きます。そして飛行機でカトマンズに帰着します。 道は非常によいが登り下りが多いし、高度が低いため多少暑いので疲れ易いコースです。しかし、マチャプチャレ、アンナプルナ、ダウラギリの姿は神々しいまでに美しい眺めです。

予定通りに着けばあとでポカラ湖やバザールを 見物したり、自動車でバイラワ方面に行ったりし て過すのもよいと思われます。

(「ヒマラヤ」第21号より再録)

Tukuche Kalopani Manapati (6,030 m) Lete (8,078 Fang 6.640 Dana . Machhapuchare (6,997m) Tatopan (6, Hiunchuli (6.700 m) Sikka Gorapani YAYANGOJ KHOLA Ulleri Birethate Lumleis Baglung Naudara Pokhara Kusuma Air Port 10 Km. ANNAPURNA R

アンナプルナ南面の旅

アンナプルナの見える町、ポカラ。ここはまだ 日本の秋である。ネパールでは、カトマンズ盆地 につぎ発達した町で、古くからチベット村とカト マンズを結ぶ通商の中継地でもあった。ここから のアンナプルナ山群の展望は「美しい」の一語に つきる。

アンナプルナ主峯。そこから続くガネッシュ, ヒウンチュリ,神の座に君臨するマチャプチャリ。 $6,997 m_0 57$ 年ロバーツ隊によって登られながらも, 頂にはなお処女雪が残されている。そして,東に はV峰, \mathbb{I} 峰,ラムジュンの白い峰々。

1970年元旦, 待ちこがれたキャラバンへの出発である。私たち2人とシェルパ1人, ポーター2人。それにポカラで仲良くなった子ども1人。6人のパーティである。

雨が降らないために、道はほこりっぱく、その上暑い。ヤンザで一息入れる。正月とは言ってもネパールでは別に変りはない。静かな農村風景と控え目な民家だけである。丘の奥にヒマラヤがある。晴れた空に山々が白く美しい。アンナプルナ『峰、『峰、『峰、『峰が白い峰を天空に突き上げている。景色に見とれてピッチは上がらない。私たちをいつも見下すマチャプチャリ。きょうはスイケット村泊りにする。ネパールの中では、このあたりの人々は恵まれているのだろう。作柄も豊富だし、ポカラのバザールにも近い。それが村を明るくしているようだ。

屋根の両側は段々畠。このあたりでとれるものは、大根・キャベツ・ジャガイモ・麦・米・とうもろこし、カボチャなどである。

親しみの増したガネッシュとヒウンチュリ。その奥に、私たちの憧れのピーク、ガンガプルナ。私たちのコースは、ビレッタディからモディ・コーラ沿いに登る。神々の座は次第に近くなる。招くように、拒むように、孤高を誇る山々……。6,000mのガーベルホーン。

スイケット・コーラをはなれて,尾根への登り となる。カレ峠の尾根を登りつめてモディ・コー ラへ下る。近くの丘も次第に高山の容想を見せ始 める。 ミカレダラ・ジャリジリの村をすぎると、グルン族の領域である。世界に名だたるグルカ兵の里もこの近くである。シェルパはポーターをうながして先を急ぐ。30kgの荷物も彼らは一向に気にならないらしい。

ポカラを出て2日目、チャンドラコットで泊る。 ここから乾燥期にはビレッタディにおりてまたキャラバンをはじめる。だが、雨期にはチャンドラコットから中腹をトラバースしてモディ・コーラへおりる。私たちはトラバースコースをとることにした。モディ・コーラは次第に原始の世界へ還る。この谷に、日本女子登攀クラブやイギリス隊が入った。

この頃から天気がくずれ出した。 1 週間隔の周 期があるという。これから悪くなるのだろうか。 ロバーツのベースキャンプ地もまだ遠い。

マチャプチャリは、奇怪な双耳峰に変身する。 美の対称から登攀へのおののきの対称へと変る。 その岩壁は 3,000m はあろう。

私たちは東水河への分岐点へ近づく。モディ・コーラの奥は、両サイド峻しい岩壁である。落石もある。

数日後には、南氷河へまわり込んだ。人を拒む 壁、ヒマラヤヒダが峻しく美しい。主稜上の山々 はヒマラヤ巨峰の名をほしいままにむさぼり、そ の氷の肌を誇る。谷はますます挾く、その奥に鎮 座するガンガプルナ。

ポカラを出て7日目,雪行きは悪化。ついに雪 も本降りとなる。退却路を断たれる心配もある。 明日はベースキャンプまでもどろう。

(「ヒマラヤ」第21号より抄録)

HAAJ ファミリーツアー 特別コース

51年12月26日発, 28日間。定員20名。

山里寿男画伯とともに上記のようなアンナプルナ南面の雪と氷の美しく、そして厳しいヒマラヤを楽しい仲間とトレッキングします。事前に山行合宿をおこないますので5月末までにお申し込み下さい。費用は一切を含んで478,000円です。

エベレストのふもとへ

第1日目, ルクラ 3時間チュタワ。昼食をすませてからルクラ飛行場 (2,930m) を出発し200m下ってナムチェ街道 (2,480m) に出る。

それからドウクチュレの寒村まで1時間ほどかかる。さらに30分ほど歩くと大きな村チャウンリ・カルカに着く。店もある。クワンデ峰を眺めながらしばらく休む。

ロンゾの村を過ぎ、道はどんどん川底へ近づく。 2時間ほど下ってチュタワ村 (2,600m) に着く。 第2日目、チュタワ 4時間ナムチェ。早朝に出 発する。橋を渡って右岸を進む。タムセルク峰 (6,608m) の立派な姿が眺められるベンカール村

を過ぎ、すぐまた橋を渡り、チユタから2時間ほどでモンジョ(2,860m)

に着く。

クンプ地方に入る。ゴルジュ地帯になり橋を2回ほど渡る。ボーテ・コシとイムジャ・コーラの2本に川は分れる。ホーテ・コシにかかる橋を渡ると急な登りになる。ジグザグをくり返して待望のシェルパの村ナムチェ(3,450m)に着く。

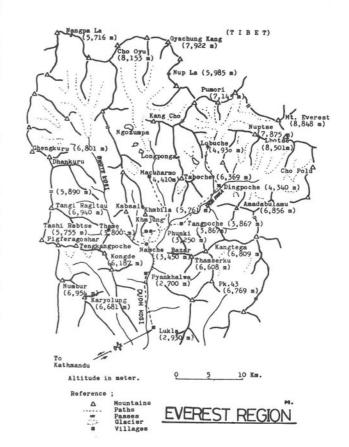
ルクラからここまでの道は日本の 北アルプスなどの縦走路と同じよう なもので、道巾は1mくらいである が、ところどころ狭くなり崩れてい るところもある。注意すればさした る危険はない。しかし、ナムチエか ら先、特にディンボチエから奥は道 が悪い。

ナムチエの村からはタムセルク峰 (6,608m), カンテガ峰 (6,609m) がよく見える。ヒマラヤに夜のとばりが訪れるころには,シエルバ・ダンスが村の広場で始まるであろう。ナムチエからは次のいずれかのコースでヒマラヤを楽しみます。

①ナムチエでシェルパの生活やラマ教の世界の調査や研究などを行なう。

- ②さらに近よってアマダブラム峰などを見たり, ラマ教のゴンパ (お寺)を訪ねるためにタン ボチエに行く。2~3日コース。ナムチエ<u>4</u> 時間タンボチエ。
- ③イムジャ・コーラに入りロブチエまで往復する。 4日コース (健脚むき) (高処順応のよい人のみ)。ナムチエ $\frac{4時間}{1}$ タンボチエ $\frac{2時}{1}$ 間バンボチエ $\frac{2}{1}$ (4,340 $\frac{4}{1}$) $\frac{4}{1}$ ロブチエ $\frac{1}{1}$ (4,930 $\frac{1}{1}$) またはマチャルモ $\frac{1}{1}$ (4,410 $\frac{1}{1}$)。

帰路はいずれパーティもナムチレから1日でル クラに着く。 (「ヒマラヤ」第21号より再録)



<問>> ルクラ・カトマンズ間の小型機代はいく らですか。

<答> 小型機(21人乗)をチャーターした場合, ルクラ・カトマンズ間の往復航空運賃は1人あた り約30,000円となります。年末,年始はひどく混 みますので予約が必要です。

<問> ネパールの地図はありませんか。

<答> ネパールの地図はUSAF Pilotage Chartというのが入手可能です。50万分の1です。 H-9(ABCD)の4枚にネパールが含まれます。 インドとの関係を知るにはバーソロミーユー社 (Bartholomews) の地図 400万分の 1 地図 India Pakistan & Ceylon がよいでしょう。 H-9 は百万分の 1 地図で, これは, ONC (Aeronautical And Operational Navigation Chart)という航空機用の地図もあります。 ネパー ルのみ2面になっているのが英国の参謀本部から 出ています。506880分の1という半端な縮尺です。 以上が現在入手可能な地図です。注文は、㈱マッ プ・ハウス 〒150 渋谷区宇田川町15-1 渋谷パル コ5 Fか内外交易Ⅲ(渋谷区広尾1丁目7番 3-107 〒150) へHAAJ会員といって申し込んで下 さい。在庫があれば約1週間で入手できます。在 庫がなければ船便で約3カ月かかります。注文後 の取消はしないで下さい。HAAJで一括購入を以 前に行なっていましたが、手間がかかりすぎるの で今はやめています。その他にネパール発行のト レッキング地図 (ポカラ, ジュムラ周辺, エベレス ト周辺, ランタン周辺)があります。カトマンズで 購入できます。

<問> エベレスト周辺の地図はありませんか。 <答> 10万分の1(英国王立地理学協会) 25万分の1(スイス山岳財図)が定評のあるもので す。ソロクンブ地方中心のものではクンブ・ヒマ ール(スイス山岳財図, ソロ・ブラック・クンブ (For Schungsuntenernekmen Nepal), 10万分の 1が入手可能です。いずれもマップ・ハウス, 内 外交易などで入手できます。

<問> エスコートつきッアー14日間に参加した あと28日間に個人的に残ることができるか。

<答> 費用の計算が複雑になりますので、でき

ません。その場合は自由トレッキング班として参加していただくことになります。自由トレッキング班は原則としてパーティを組んでいただくことになっています。しかし、おひとりで参加の場合は打合せ会などで協会があっせんし他の人とパーティを組んでいただくつもりです。いずれにしても28日間パーティは特別コースの人を除きカトマンズ以遠はパーティ責任で行動していただきます。 〈問〉 自由トレッキング班の現地費用はいくらくらい必要でしょうか。

<答> 小型機, タクシー, ジープの費用以外に 必要なものは、トレッキング期間を10日間とすると, 食料費が800×10日=8,000円

生活費 500 × 10 日= 5,000 円

共同装備, ガイド雑費が5人パーティとして1人10,000円, 計23,000円を見ておいて下さい。

<問> 28日間のシェルパ・ポーター費はいくらくらい見ておけばよいでしょうか。

<答>シェルパ・ポーターとも1日25 Rp (約750円)を見ておけばよいでしょう。それに、シェルパには食費、装備の借用代がかかりますし、ボクシスも払った方がいいので(支払金額の10%位)余裕を見て1日1,500円見ておけば充分と思います。食費、生活費は前の項を参照して下さい。<問>ナムチェ方面はかなり標高の高いところに行く訳ですが適性はどうして判断したらよいでしょうか。

〈答〉 3000m以上の山で、ひどい頭痛や吐気をおばえたことがなく、消化器系統に異常のない人は第1段階のナムチエまでは確実に行けます。ナムチエで高度の障害がひどいようなら、そこのあたりでストップになります。そこから上では個人差がありますが、事前に医学的にチェックする確実な方法はありません。初めての人は、行ってみなければわかりません。しかし、ナムチエ方面で充分エベレストの景色を楽しめます。出発までに是非テスト山行をされることをおすすめします。1日で富士山に登ってみて、たいした異常がなければ第一段階は大丈夫です。

<問> ヒマラヤの冬の寒さはどうでしょうか。

<答> カトマンズの冬は東京の晩秋の感じで,

朝夕は寒く、毛布1枚では少し寒いといった程度です。日中はスポーツシャツ1枚で充分です。大体12月、1月は晴天が続きます。ポカラは初秋といったところで快適な生活です。日中は半袖でもよいくらいです。ゴラパニの峠(2,600m)ですとカトマンズと同じくらいの気候です。ナムチェは朝夕はマイナス10度位まで下り、氷が張りますが、日中は東京の初秋の気候です。非常に寒いという感じはありません。ナムチェ以北では日本の秋の山といったふうで、夜は冷えこみます。羽毛衣かキルティング・コートが必要です。

<問> ネパールの旅行事情についてお教え下さい。 <答> 「ネパールの旅」(600円)をお読み下さい。若干がHAAJ名古屋事務所にあります。

<問> 参加資格について、また心構えについて、 <答> HAAJでは"みんなのヒマラヤ"をモットーにしていますが、できるだけヒマラヤを研究してから参加して下さい。英語も駄目、ヒマラヤの美しさだけ楽しめばよいという人はHAAJのポカラ周辺コースとエベレスト周辺の旅以外は遠慮して欲しいのが引卒者の気持です。ちょっときびしすぎる答かと思いますが参考までに。なお、このようなことを知ろうともしないし、反省などちっともない人が多いのです。行かれる前から気にされるようならまず大丈夫です。

<問> 自由トレッキングを計画していますが、 許可範囲が不明です。どのようなコースにしたら よいでしょうか。

<答> まず希望コースをお決め下さい。それでトレッキング申請をいたします。駄目なら別のコースに変更して下さい。第1案,第2案を知らせて下さい。ネパールの方へ打信します。第3案としては問題なくとれるコースを考えておいて下さい。例えばゴザインクンドめぐり、ランタン・コーラ、シーカからジョムソン、モデイ・コーラ、ナムチエ周辺などです。

<問> フィルムの特込は何本までよいでしょうか。またカメラについてはどうでしょうか。

<答> 「インド旅行案内」の税関の項に書いてあります。フィルムは25本、映画用フィルム10巻まで、カメラ2台とシネカメラ1台が無税で持込めます。これ以上持込む場合は関税(100%くらい)がかかりますがカメラ追加1台まで、フィルム制限なし、映画用10巻が追加で持込めます。ネパー

ルへの持込はさらに制限がきびしいです。「ネパールの旅」をお読み下さい。しかし、インドを通れば大体大丈夫です。制限以上持込む方は打合せ会のとき数量を役員にいって下さい。何らかの便法を考えます。しかし責任はもてません。ついでですが、ヒマラヤでの写真は個人差はありますが、シネ、スチール合せてよく撮る人で1日1本と考えた方がよさそうです。かなり気を使いますし、沢山撮ると写真ばかり撮っているようなことになりますのでこの点もよくお考え下さい。特にシネはかなりの負担になります。2~3人で組んで撮りあとでお互にプリントし合うのも方法です。

<問> 撮影禁止場所が多いそうですが。

<答> ネパールではほとんどありませんが、インドでは公共の建物(空港、駅など)はたいてい撮影禁止です。うっかり撮るとスパイと疑われてポリスに連れていかれたり、フィルムを取り上げられたりしますのでご注意下さい。現地ガイドか役員、そこで働いている人、ポリスなどに必ず聞いてからにして下さい。毎回トラブルをおこす人がいて引卒者は困りますので……。

<問> 予防注射はどこでするのでしょうか。

〈答〉 注射代(1,000円)をもって出発3週間以前に指定のところへ行って下さい。場所,時期などは旅行社に問合せて下さい。コレラと種痘で結構です。28日間パーティの方は腸チフス,パラチフスの注射をしておかれる方が無難でしょう。

<問>> トレッキング中の宿泊はどんなふうですか。 <答> テント泊りになります。民宿もありますが、村の家は日本の物置程度のものですので、むしろテントの方が快適です。テントの設営や炊事などは一切シェルパがやります。

<問> インドやネパールの12月から1月の気候はどうでしょうか。

<答> 緯度が台湾と同じくらいですので亜熱帯ですが高度が高いので、カトマンズ(1,300m)は初冬の感じです。日中は春か初夏くらいです。ポカラはもう少し暖かく秋の初めくらいです。日中は半そででちょうどいいくらいです。天候は雨の降ることはほとんどありません。山間部では1週間に2度くらい雪が降ることもあります。この時期のインドは年間を通じて一番旅行に快適な季節です。空気も澄んでいて気温も適当、山もよく見えます。空気が乾燥していますので、のどをやら

れることが多いので水分を充分とるように注意して下さい。

<問> 薬を持参すべきでしょうか。

<答> 救急薬品その他は引卒者で用意しパーティ毎に持参します。したがって、参加者がいつも使いなれた薬若干、持病があればその薬を多目に持っていって下さい。それよりも事前に体調を整えて下さい。特に歯、消化系統に故障がありますと食欲がなくなったりして、体力が消耗し高山病にもかかり易いことになります。

<問> トレッキング中の1日の行動時間はどの くらいでしょうか。

<答> 実動4~5時間です。早く歩けば3時間くらいです。それをゆっくり休みながら歩いて6~8時間が1日の行動時間になるように考えています。日本とネパールの時差が4時間ほどありますので到着3~4日はどうしても昼夜のサイクルに体がなじめないので疲れ易く,そのため、大巾に行動時間を少なくしてあります。旅の終り頃にはかなり無理をしていただいてもよいと思いますが前半は夜もなるべく就寝するように心掛けて下さい。このことは28日間パーティの方も特に留意して計画をたてて下さい。

<問>トラベル・ローンを利用したいのですが。 <答> 各種のローンが利用できます。20才以上 の方なら資格があります。20才以下の方はご両親 が申し込んでいただければ結構です。頭金が‰以 上必要です。返済は24回払いまでいろいろありま す。旅行社にお問合せ下さい。

<問> ポカラからの飛行機が遅れ、カトマンズから日本へ帰るフライトに乗れなかった場合どうなりますか。

<答> 航空機の都合でそうなった場合は延期が認められます。直接航空会社と交渉して下さい。ポカラーカトマンズ間は欠航することはほとんどありません。日に三便くらい飛んでいます。予約は必要です。

<問> ポカラへの飛行機の重量制限は何kgですか。また、オーバーしたときの料金は?

<答> 国際線と同じく20kgまで無料です。それ以上オーバーした場合は1kgについて約80円です。 (ポカラーカトマンズ間)

<問> ポカラのホテルはどのようにして契約しますか。

<答> 現地旅行社にたのんで契約します。テント生活も可能です。クーラリッジス,アンナプルナ,フィシュティル,スノビューなど数軒あります。値段は1泊2食で1000円から20,000円までいろいろあります。

<問> 現地旅行社は何をしてくれますか。

<答> トレックの許可受取, ビザ延長, シェルパの手配, ポーターの手配, カトマンズ市内の案内, ホテルの手配などです。

<問> ドルはどのようにして購入しますか。

<答> 1ドル 310円位で計算し、出発 1ヵ月前までに円を銀行に払い込んで下さい。パスポートなど必要です。購入額の制限は1500ドルまでです。

<問> ルピーはどのようにして交換しますか。 <答> 個人のルピーはドルから銀行などで個人 の責任でかえて下さい。出国の際にルピーからド ルへ再交換は困難ですのでこの点よくご考慮下さ い。1ドル=10.50ルピー÷310円です。インド内 のルピーは同様に銀行やホテルでかわります。1 ドル≑7.80ルピー。 交換レートは時々変ります。 <問> シェルパの個人用装備を日本から持参す る必要がありますか。

<答>トレッキングの場合必要ありません。チップがわりにソックスかジャンパーを渡せば喜びますが必ずしも渡す必要はありません。ただし、小登山をするような場合予約時にいっておきピッケル・アイゼンなどをもってこさせることができ、それを買いあげるか、借用代を支払う必要があります。ヒマラヤン・ソサイテイの規定では遠征隊に準ずるとなっていますが、そう固苦しくはないようです。

<問>トレッキング中病気など事故がおきた場合の連絡や処置について。

<答> 大至急スリナガールやカトマンズへ帰って下さい。病院がありますのでそこに運んで下さい。医者を現地まで急行させるのは時間的に無理ですし、行ったとしてもたいしたことはできません。28日間パーティは各パーティが責任をもってスリナガールやカトマンズ以遠の行動をすることになっています。医療担当者を決めて応急処置ができるようにして下さい。パーティも2人以下は許可しません。保険は協会で強制加入していただいているものはトレッキングにのみ有効ですので、小登山をされる方は各自工夫して充分な保険をか

けておいて下さい。費用は一切個人で支払ってい ただきます。

<問> ローンで行く場合の費用の支払いはどうなるのでしょうか。

<答> ローンの申し込みをして下さい。借用される(借用できる)金額が決ったらそのお金と旅行費用の差額を支払って下さい。30万円が借用の限度だと思いますがくわしいことは旅行会社におたずね下さい。

<問> 円,ドルの持出はいくらまでですか。

<答> 日本円 50,000円, USドル 1,500ドルまでです。購入方法は前の項を参照して下さい。なお, 予備金(多分使わないと思われる金)はトラベラーズ・チェック(旅行者小切手)で持参された方が安全です。購入方法は現金ドルと同様です。

<問> エスコートつき14日間ツァーの荷物は1 人何キロまでいいのですか。

<答> 1人15キロ以内におさめて下さい。共同 装備,食糧は主催者で用意します。

<問> 荷物は私たちが、かついで歩くのですか?。 <答> 現地でポーターを雇いますので、トレッキングする人はカメラや弁当を入れるサブ・ザックを背負うだけです。炊事、テント設営などすべてシェルパやポーターがやります。

<問> スタイルは?

<答> 軽登山靴にニッカー・ホース又は半ズボンで結構です。勿論、羽田空港から登山スタイルでもかまいません。あまり何種類もの服装でない方がらくでしょう。

<問> ホンコンにも寄りますか?

<答> 勿論,往路,復路共給油のため約1時間ほどホンコンに寄りますので、ショッピングを楽しんで下さい。1泊するコースもあります。

<問> 保険の加入は?

<答> 万一事故のとき、現地通貨で支払われる ヒマラヤ旅行者向きの保険をおすすめします。旅 行社へお問合せ下さい。

<問> キャンセルの手数料は?

〈答〉 色々の事情で参加できなくなる場合もありますが、申込まれると、航空機、ホテル、観光パス、ポーター、食糧その他の手続きが進んでいると穴があくことになります。その場合、申込金から次の金額を手数料として差引くことになります。をかパールでの通関をおこないます。まず99%はとどきますが万一無くなるということも考えておすのでご承知下さい。旅行開始日の60~15日前まいて下さい。は受取人と送り出人は共同荷物の場

では申込金の範囲内, 15日~3日前までは旅行費 用の30%内, 2日前から当日まで50%です。

<問> トレッキングといっても山へ登るのですか。 〈答〉 いわゆる"ピーク"には登りません。ヒマラヤの村から村へと歩き、白き神々の座を眺めるだけです。しかし峠など4,000m以上のものもありますので、日本の山より高い峠越えがあるわけです。技術的には易しい夏山の縦走路程度と考えられてよいでしょう。

<問> 飛行機は20kgまで手荷物が認められていますが、これはショルダーバックの重量も含んででしょうか。

<答> ショルダーバック(機内持込分)も合せて 20kgです。

<問> ベンジン、ガソリンの持込はどうでしょう。 〈答> 機内に持込は禁止されています。ただし、 小量ならかまいません。必ず手に持つ荷物の中に 入れ、パッキングは厳重にして下さい。しかし、 カトマンズでも入手可能ですので持ち込まない方がいいと思います。ライターのガスボンベなどは かまいません。

<問> 現地ではどんなサーダーやシェルパがついてくれますか。

<答> トレッキングコースに詳しいシェルパやガイドを手配します。現地旅行社におまかせ下さい。特に指名があれば早目にいって下さい。連絡をとります。

<問>> 別送品について (イ)いつまでに送ればよいか。(□梱包はどのようにしたら。(√)値段は? (二)通関は? (ボ)受取人は?

〈答〉 (4)出発30日前までに通関業者へ送って下さい。送り先は旅行社へお問合せ下さい。(ロ)ダンボールで結構です。中味が出ないように考えて下さい。割れ物は入れないで下さい。表に「HAAJ」を入れて下さい。リストもはりつけてもらうと便利(品名のみ)。差出人はパーティ代表者名で。(4)1 kg約 700 円です。(ただし,出発前別送の場合の値段)。(二)パッキングリストを作って下さい。できれば英文でお願いします。品名と重量、価格(安く書くこと)を明記して下さい。2 部旅行社へ送って下さい。それに従って日本での通関、インドやネパールでの通関をおこないます。まず99 %はとざきますが万一無くなるということも考えておいて下さい。(は受取人と送り出人は共同荷物の場合で、

合パーティのリーダーになっていただきます。個 コンロ,石油タンク,フライパン,細引,炊事小 人の場合は個人です。荷物は現地の空港の税関で 物、大なべ、バケツ、マッチ・ローソクなど生活 荷受人自身が若干の税金を払って受け取ります。 税金は価値の30%くらいです。

<問> 説明会,打合せ会の予定はいつ開かれますか。 <答> 各地でヒマラヤ集会を開きますので、そ てに出席し質問などをして下さい。(東京定例第1, 第4金曜日東京事務所,名古屋定例第2金曜日) 旅行のための打合せ会は追って連絡します。

<問> 出発当日はどこへ集合しますか。

<答> 空港の待合室に10時に集っていただく予 定です。追ってくわしいことは旅行社より連絡し ます。

<問> 装備はどのようなものを持参すればよい でしょう。

<答> 下記の表をで参考にして下さい。エスコー トつき14日間などの方は個人装備のみで結構です。

共同装備 5人1組

テント	1	グランドシート	1
圧力ガマ	1	ビニールシート	1
コンロ	1	大なべ	1
石油タンク	1	バケツ	1
フライパン	1	マッチ・ローソク	1
コッヘル	1式	温度計	1
細引など	1式	高度計	1
炊事小物	1式	薬 品	1式

用品の大半は現地(カトマンズ,ニューデリーな どで購入できます。

「個人装備」下記を参考にで用意下さい。12~15 kgくらいにおまとめ下さい。

品	名	数量
登山ズボン		1 kg
登山シャツ(ウールがよい)	1
登山用下着(毛のものがよ		1
ハイキングシューズ		1
ソックス (ナイロン, 毛)		各 2
寝袋(普通のもので可)		1
セーター		1
手袋(軍手,毛)		各 1
雨具(ビニール,シートも	可)	1
コーモリ傘(日よけ兼用)		1
スプーンセット		1
洗面用具		1
懐中電灯(電池電球スペア	付)	1
パスポート類(保険証、注射		1式
筆記具		1式
ノートなど		1式
持病の薬		1式
小物入れ		1
磁石, 地図		各 1
サングラス		1
リュック・サック(中)		1
ゴムぞうりなど		1

<問> 食料はどんなものを考えたらよいでしょうか。

<答> 下記をご参考にして下さい。米類はカトマンズで購入できますので、調味料などを日本から持 参して下さい。エスコートつきパーティは主催者で持参しますので、特に個人的好みのある方はご自分 田として何かお好きなものを持っていかれるとよいでしょう。

	A		В			C		
1	品 名	数量	品	.名	数量	品	名	数量
	*	0.8合	米		0.8合	モチ		3 個
	インスタント味噌汁	1袋	インスタント	味噌汁	1袋	野 菜		
期	野菜	1 2	味つけのり		1束	花かつを		
	卵	1個	卵		1個	漬 物		1/4袋
食	漬物	14袋	漬物		14袋	お茶		10000000
	お茶	7430	お茶		1450			
_	パ ン	-	インスタント	ラーメン	1袋	チャパティ		
星	ジャム		菓 子	, , ,	- 12	ジャム		
巨			果物		1個	ジュース		
	紅茶		ゼスケット		Y liest	果物		1個
食	砂糖	1個	CATOL			12		
	果物		米		1 合	*		1 6
	米	1 合			1 投			1 - 1
	カレーライスの素		すまし汁		1 20	玉ねぎ		
夜	肉		とろろ昆布			肉肉		
	野菜お茶		じゃがいも			コンソメスープ		
食	お茶		玉ねぎ		1 /1			1 \$
			卵		1個	漬 物 茶		1 2
			漬 物		4袋	お茶		

○予備食 インスタントうどん(2), ビスケット(5), ジュースの素(5), 砂糖(1), 紅茶(1)

- ○非常食 チョコレート、アメ玉
- \bigcirc スペシャルボックス こしょう,塩,粉わさび,ガーリック,つくだに,味の素,マヨネーズ, (5人で1箱) しょう油

<問> 雑誌の知識によりますと、ネパールのトレッキング許可が以前より難しくなったという話もありますが、本当にトレッキングの条件に高度制限があるのでしょうか?

<答> 何メートルまでという制限はありません。 コース(許可範囲)については従来と変らない制限 があります。これも近く広げられるという見込み です。許可される範囲にある峠や小ピークなどで 4,000~5,000 mに達するところは多くあり、これ らはもちろん通過OKです。しかし、本格的な試 登をされるような場合はトラブルのおこる可能性 が高いので事前によく説明して許可をとっておか れることをおすすめします。日山協に係わる場合 も出てきます。この件に関しては微妙な問題もあ りますのでヒマラヤ集会のときなどに個人的にア ドバイスさせていただきます。 なお, このような ニュースが流れているのは最近のヒマラヤでの遭 難やトレッカーの病死などが原因となっています。 くれぐれもHAAJ会員の皆さんの慎重な行動をお 願いします。

<問>> 夏にカシミールのバララチャ峠までゆきたいと思っているのですが、南回りのコースしか外国人には許可されないということを聞いたのですが、ほんとうでしょうか。私としましてはマナリからジープでKyelong経由でバララチャ峠までゆきたいと思っておるのですが?

<答> Kyelong 経由の Baralacha laは Kyelong のすぐ先の川の合流点の村、Sumdoの橋までしか入れません。ここにチェックポストがあり。南廻りのコースは「岩と雪」41号 P121~125「スピティ地区踏査」にあるように Chandra 川経由で入れるようです。クルにある行政庁(ツーリスト・オフィスで聞くと分ります)で、許可をもらうことが必要のようです。これ以外の特別許可は New Delhiの国務省扱いとなり、許可取得は困難でしょう。しかし、事情は流動的ですので現地で交渉してみる余地は残っています。

<問> 約1カ月の予定でカラコルムのバトウラ 氷河方面へトレッキングをしてみたいと考えてお ります。入国情況ならびにギルギット~バトウラ 氷河方面,ギルギット~チトラル方面の地図の入手, それと一応ウルドウ語の勉強をしていきたいと考えていますので, なにか参考になるものがありましたら御紹介願いたいと思っております。

<答> バトウラ氷河はどのあたりまで入れるか 分りませんが、ギルギット、フンザはオープンして います。ただし, 陸路ギルギット入りは道路工事中 のため通れないと思います。PIAの飛行機は席が とりにくいので、そのつもりで行かれるとよいと 思います。この方面の地図は、かって岳人の附録 についていたものが便利です。大きいスケールのも のでは、SSAF 75万分の1「Karakoram」,RGSの 「Karakoram」, 100万分の1ならONCのG-6,G-7 などがありますが,いずれも入手難です。Minapin (Rakaposhi Range)1/50,000もあります。㈱マッ プハウスにHAAJ会員として申し込んで下さい。 ウルドウ語の参考書は、「大学書体」から出ている「ウ ルドウ語一週間」がよいと思います。絶版になって いるかも知れません。現在, HAAJ にはパキスタン 関係の資料の在庫は第6回H・K会議報告のみし かありません。

<問> 私は12月~1月の約40日の予定で、小チベット・ラダック方面をトレッキングしたく思っています。 資料がありましたら教えていただければ幸いです。 <答> 12月~1月のラダックは、スリナガールからゾジラが交通が止まり、入域できません。10月末~5月中旬まで閉じてしまいます。歩くと15日はかかりますので、冬期のラダック入りは困難です。5月中旬~10月中旬しか入れないと考える方がよろしいです。参考文献はHAAJで出版した「カシミールの街と山」「秘境ラダック」が今のところ和文文献の唯2つのものです。

<問> マカルー関係の最近の資料について出版 社などおしえて下さい。

〈答〉 マカルー関係の資料としては茗溪堂から出ている「遙かなる未踏の尾根、マカルー1970年」4,800円、山と溪谷社からの「マカル西稜」1,800円が新しいものです。非売品としては、1970年マカルー隊の交信記録を中心にまとめた「海外登山研究会資料Ⅳ」JAC東海支部があります。(HAAJに在庫800円 送200円)

ヒマラヤをあなたの目と足で確かめて下さい

- * ガルワル・トレッキング
- *小チベット・ラダック
- *ビルマとダージリン

- *カシミールの旅
- *ネパール・トレッキング
- *自由トレッキング

(株) トラベル日本

主 催

〒100 東京都千代田区有楽町2-2-11 ラクチョウビル 5階 担当者・外ノ池愉平

一般登録 67 号 取扱い主任者・五艘和雄

日本ヒマラヤ山岳協会・(株)フロンティア

企 画

〒164 東京都中野区中央 3 丁目 45 番 18 号沢本 ビル 1階 担当者・鈴木康志

〈ヒマラヤの魅力〉

中世紀を思わせる石畳や家並、素朴な人々の生活、そしてエメラルド色の空に抜きんでている雪と氷の峰々、それらのすべてには人間としての喜びを味わさせてくれる汚れない自然と、そのヒマラヤの空で営なまれてきた悠久の歴史が刻み込まれています。

幾多の登山隊が、8,000m級の山々をめざして、栄光とそして時には悲劇のドラマを演じてきました。 山を愛する人たちにとって、世界の屋根ヒマラヤを夢みない人はいないでしょう。世界の最高峰エベレストに誰でも登るという訳にはいきませんが、近くで眺めることは簡単にできるようになりました。

もちろん、ヒマラヤは山だけでなくヒマラヤ山麓の生活を通じて、人々やヒマラヤ文化との触れ逢いも楽しみの一つです。小チベットといわれるラダックには、民族的にもチベット人と変わらない人々が住んでいます。いわゆるチベットが中国の一部になってしまった現在、昔からのチベット文化がそのままの形で残っているところです。また、シッキムやブータンには昔ながらのラマ教文化と、それぞれの国の、まさに絵のような美しい風景をもった秘境の中の生活が美しく保たれています。ヒマラヤのシャングリラ(桃源境)と呼ばれているゆえんです。文明化した日本では忘れられてしまった自然と人との語らいがヒマラヤにはまだまだ残っているのです。ヒマラヤは人類のふるさとといっても過言ではないでしょう。心ゆくまでヒマラヤをトレッキングし、旅をし、ヒマラヤを味わってみようではありませんか。

〈難しい旅ではありません〉

ヒマラヤ・トレッキングや旅は、長期間のものや特に高い峠を越えるものを除いて特別の登山技術は必要ありません。体調さえ整っていれば充分です。食事の用意や宿泊のことは、訓練されたガイド、シェルパ、ポーターなどが全部用意してくれます。サーブはただ思う存分ヒマラヤの魅力を自分のものにすればいいのでう。

当社は現地手配や出発前の打合せなど、万全のお手伝いをさせていただきます。思い立ったらすぐに で相談下さい。それがあなたのヒマラヤへの第1歩になることでしょう。

後援/日本ヒマラヤ山岳協会 Himalayan Alpine Association of Japan (HAAJ)

ガルワル・トレッキング

ナンダデビー (7,816 m) や、ガンジス川の源流 近くあるヒンズー教の聖地をたずねるトレッキン グです。ポーターやガイドつきで一切をお世話す るツアーのほかに、自由トレッキングを利用して 思いのままに歩き、登るコースを作ることもでき ます。現地調査に基づく資料や情報が沢山ありま すので打合せ会、各地のHAAJヒマラヤ集会など でご質問下さい。

日程(15日間)出発日 51年4月25日,51年9月12日

第1日 東京よりニューデリーへ。

第2日 デリーで午後市内観光。夜行列車「ムス

第3日 リー号」でハルドワへむかう。

第4日 早朝ハルドワ着。 バギラティ川をのぼって ウッタラカシ着。 4 Kmほど歩いてガンゴ リ・ガードでキャンプ。

第5日 標高1,828mの村までトレッキング。

第6日 15kmトレッキングして標高3,048mのデオダールの湖へ。森の中では野性動物が見られ、湖ではヒマラヤのマスが釣れる。約4,000mのダラヤの山頂近くまで登るとバンダルプンチ(6,387m)やガンゴトリの山が見える。

第7日 アラゴの村へ下山。

第8日 ウッタラカシに帰り, ネール・ヒマラヤ 登山学校などを見学。 第9日 190kmドライブしてバギラティ川, アラカナンダ川を下り, カランパラヤーグに泊る

第10日 190kmのドライブでヒンズー教の聖地バド リナートへ着く。ニルカンタ(6,596m) の眺めがすばらしい。

第11日 バドリナート見学後、ジョシマートへ帰る。

第12日 215kmドライブしてからガルワルの展望台パウリへ。

第13日 パウリからハルドワへ下り、夜行列車で ニューデリーへ。

第14日 ニューデリーで買物など自由行動。

第15日 ニューデリーより空路,羽田空港着後解 散。

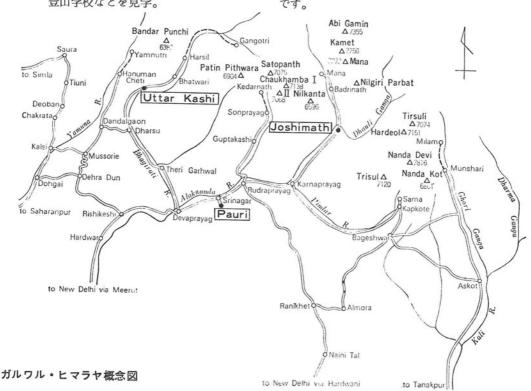
ガイド、ポーターつきのツァーです。テントな どキャンプ用品は用意しますので寝袋のみ持参し て下さい。宿泊,食事などすべてを含みます。

出発日 51年4月25日,51年9月12日期間15日間 募集人員 20名

締 切 日 出発の2か月前

費 用 363,000円

上記の他に、27日間でトリスル山群の5,000 m 近くの山へトレッキングするコースもあります。 出発日は同じ期間で27日間、費用はガイド、ポーター、宿泊、食事などすべてを含んで449,000 円です。



ネパール・トレッキング

神々の座ヒマラヤ山麓を訪ねます。圧倒的な迫 力と美しさは、終生忘れ得ぬ旅となるでしょう。 首都カトマンズのバザールと寺、おとぎの国とい うのにふさわしいたたずまいです。

自由行動中は各自の責任でトレッキングしてい ただきますが、コースや日程など事前に決めてご 相談下さい。簡単な計画書を作成して下さい。費 用は日本出発後2日目の朝食までと帰国3日前夕 食より日本帰着迄の費用です。 参加人数により 多少の変動があります。14日間コースには自由行 動日を利用し

エスコートつきコース てガイド,シ ェルパつきの一切をお世話するコースも用意して あります。コースとしては、カトマンズからポカ ラへ車で行き、そこから徒歩でマチャプチャレの 美しいノウダラの丘へ登り、さらに進んでゴラパ ニの峠まで往復します。ただし、参加者の体力や で希望で、ノウダラとその周辺を楽しむことにな るかも知れません。

食事やポーターなど一切をお世話しますので寝 袋のみで持参下さい。服装は日本の初秋のハイキ ング程度で結構です。荷物はポーターが運びます ので、参加者の方はサブザック一つで歩いていただ きます。宿泊は民宿またはテント泊りになります。

アンナプルナやダウラギリの 8,000m のヒマラ ャの雄姿を充分お楽しみ下さい。

日程(14·28日間) 出発日 51年12月26日

第1日 東京、羽田空港より空路ニューデリーへ。

第2日 空路カトマンズへ。午後自由行動。

カトマンズにてトレッキング許可取得, 第3日 ビザ延長、トレッキング出発準備。

7日間~21日間お好みのコースでトレッ キングに出発。自由行動日。

第11/25日 トレッキングを終えカトマンズ帰着。 第12/26日 午前中自由行動。午後カトマンズよ り空路ニューデリーへ。

第13/27日 ニューデリーより空路ホンコンへ。 第14/28日 ホンコンより空路羽田空港着,通関 後解散。

出 発 日 51年12月26日 期間28日間または14日間 各 20 名 募集人員

締切日 出発2か月前

275,000円, ガイドつき14日間は357,000 円(ただしてれは10名以上まとまった場 合の料金ですので,人数が少ない場合 は若干高くなります。) HAA J・ファミリーツ アー特別コース28日間は478,000円。

自由トレッキング

1人でも参加できる自由ヒマラヤトレッキングです

気軽にしかも低廉な 〈何人でも、いつでも出発できます〉 費用でヒマラヤをトレッキングする旅を企画しました。1人でも、またお友だちとご一緒でも 参加できるユニークなツアーです。現地手配や出発前の打合せなど万全のお手伝いをさせてい ただきます。インド、ネパールなどのコースをお1人でまたはグループでトレッキングして下 さい。トレッキング範囲には、制限がありますので早目に相談下さい。若干の割増料金をご用 意いただければニューデリーからカシミールへ、クル、マナリ方面へ、あるいはアフガニスタ ンに足をのばすことも可能です。カルカッタからダージリンやシッキムも訪れることができま す。その他、地上の楽園カシミール、ヒマラヤの王国ネパール、仏教国セイロン等あなた自身 のお好みで計画して下さい。1日1ドルのケチケチ旅行から、全コース飛行機利用のデラック ス版まで、費用、旅行計画、何でも当社のベテラン係員がご相談に応じます。自由トレッキン グの場合は、スケケジュールを組んだり、現地への問合せなどに時間がかかりますので、少な くとも出発3か月前にお申し込み下さい。



*ご参考事項-

● 総経費に含まれるものは次のとおりです。

△航空・船舶・バスなどスケジュール中の利用 交通機関の運賃 △送迎バス料金、団体行動中のガイド料金

△ホテル料金 (2人部屋)(1人部屋ご希望の場合は追加料金をいただきます) 税金, サービス料

△食事料金 (コースにより3食付きでない目があります)

△手荷物運搬料金お1人につきスーツケース2個程の手荷物の全行程の運搬料金 (重量制限は20キロ)

△団体行動中のチップ

● 総経費に含まれないものは次のとおりです。

▲超過手荷物料金 (1人当り20キロを超えたもの)

▲クリーニング代、電話代、酒、果物類、その他個人的性質の諸経費およびサー ビス料

▲旅券印紙代, 否証料, 予防接種料金, 渡航手続手数料

▲自由行動日の費用,シェルパ・ポーターあっせん料

参加お申し込みの際、お申し込み金として5万円をお納めしていただきますので で了承下さい。お申し込金は総経費お払い込みの際差引かせていただきます。な お旅行総経費のお払い込みは旅行の出発日の14日前までにお支払い下さい。

お取消し料

参加お申し込みののちお客さまのご都合によりお取消しになる場合は、(4) 旅行 開始日の60日前から16日前までに解除した場合は申込金の額の範囲内, 15日前か ら3日前までは旅行費用の30%内,2日前から当日まで及び無連絡不参加の場合 は旅行費用の50%以内、(ロ) 旅行開始後の一部解除の場合は解除に係る旅行費用 の100%以内、をお取消料としていただきます。

@ 7º 7F G

トレッキング中または旅行中に生じた事故(病気も含め)につきましては、主催 者ではできるだけ速やかにそれに対処いたしますが、治療等の実費は当事者の負 担となります。ご旅行中、天災・火災・不慮の災害・政府および公共団体の命令 ・政変・ストライキ・戦争・暴動・流行病隔離・税関規則など不可抗力の事由に

▲空港税

トレッキング・コース

─飛行機 ─ 車 ─ 徒歩 …少し難路

西ネパール・ジュムラ周辺

カンジロバヒマール山麓などあまり知られてい ないコースですが、それだけに秘められた楽しみ があります。ジュムラへの定期便または特別便を 利用しなければならないので割高ですが、それだ けの価値はあります。特別便チャーター料は10人 の場合1人片道6万円ぐらいです。15日間以上は、 トレッキングして下さい。

■Kathmandu = Pokhara = Jumla - Kaigaon ... Jagdula Kholat & Kanjiroba Himal \$ 1214 Patrasi Himal 方面へ。(不許可の場合もある)

В アンナプルナとダウラギリ山麓

2 つの8,000m峰を間近にあおぐトレッキングで す。ポカラからのマチャプチャレ、チベットへ続 く隊商路モディ・コーラの氷河, ジャングラ・バ ャンの5,000 m級の峠などいろんなコースが楽しめ ます。カトマンズから2日で行けるノウダラの丘 からのヒマラヤ展望もすばらしいものです。

■Kathmandu=Pokhara-Golapani-Tatopani

チベット

C エベレスト山麓

シェルパのふるさとナムチェバザールからエベレスト のベース・キャンプ地(5,300m)やゴジェンバ氷河に沿 って歩いたり、氷河湖を訪れたりしながら世界の 最高峰エベレストやその周辺のローツェ、アマダブラ ムなどの名峰を眺めるトレッキングです。12日間以 上はみておいて下さい。4,000m以上の高地に滞在 しますので, 高度障害が強く現われる人は慎重に 行動して下さい。

■Kathmandu=Lukhla-Namche Bazar-Thamdoche-Khumbu 氷河, エベレスト隊 ベースキャンプーNamche-Lukhla

D ゴザインクンドとランタン・ヒマール

世界で一番美しいといわれているタンラン谷と ヒンズー教の聖地ゴザインクンドを訪れるコース です。15日間以上はみて下さい。特に降雪期にガ ンジャラの峠を越えてこのコースを1周する場合 は, 充分な準備が必要です。

■Kathmandu-Trisli Bazar-Gosainkund-

Langtang…Gan jala…Sundarizar…Kathmandu 費用概算 自由トレッキングの場合は、申込後コ - スや条件によって見積らせていただきます。自 由行動日の生活費・雑費は飛行機代, 車代などを

■ 上記コースは国情の急変などで許可のとれな いてともあります。



より生じた損害・盗難・詐欺・暴行・疾病・傷害など旅行代理店の責任外の事故 による損害、お客さまが法令もしくは公序良俗に反する行為を行なったため生じ た損害については責任を負いかねます。また航空機・鉄道・絵館等の運輸機関の スケジュール変更による日程変更、運賃変更にともなう費用の変更などがある場 合もございますのでご了承下さい。

航空機運行上の都合その他の理由により旅行の実施が困難な場合はその旅行をと りやめることがあります。

定員に横たない場合には旅行費用が若干上ります。

運賃・為替相場等の改訂があった場合は、経費が改訂されることがあります。航 空機のスケジュール変更、その他やむを得ない事情により日程を多少変更すると とがあります。昭和51年1月1日を基準にしております。

説明会・打合せ会

旅行についてのくわしいで注意, 日程, 渡航手続, 旅具などについての説明会 打合せ会を出発の約1か月前に行います。 日時、場所は追ってお知らせいたしま す。現地の事情,コースのご相談などは日本ヒマラヤ山岳協会東京事務所 〒468 東京都中野区中央 3 丁目45-18 沢本ビル 1 階「ヒマラヤの旅」係宛にお

問合せ下さい。緊急の場合を除きハガキまたは手紙でお願いします。

- 申し込みおよび旅券申請に必要な書類
- (1) 申込金 50,000 [9] (2) 申込書 1通(最近6か月以内に本籍より取り省せたもの) 戸籍抄本
- 10葉 (パスポート用写真, 5 cm×5 cm・背景無地・正面脱帽・ス 100 ピード写真不可)
- (5) 住民票 1通 最近6か月以内に現住所の市,区役所より取り寄せたもの)
- (6) 現住所を証明出来るものを申請時にご用意下さい。

● 費用などの送金

ッアー名,氏名を明記して、下記へお振込み下さい。全国のどこの銀行からでも わずかの手数料で確実に送金できます。いろいろな費用を同時にお振込みになっ た場合は、お手数ですが振込んだ銀行でもらわれた振込受取書に明細を記入して、 お送り下さい。郵便局からの振陸口座による振込もで利用ください。

① 三菱銀行 中野駅前支店 普通口座 | 11座名 | ヒマラヤの旅]、| 11座番号 4267915番

カシミールの旅

湖と森と山の都カシミールは、古くからインドの高級避暑地として発展してきました。ダル湖に浮かぶハウスボートでの一夜、グルマルグの草原、ソナマルグの氷河と山へのトレッキングと興味つきないところです。回教徒が多く、一風変わった家並と人々の生活、そこには別のインドがあります。



日程(14日間) 出発日 51年8月8日

第1日 東京より空路ニューデリーへ。

第2日 ニューデリーから空路スリナガールへ,ハウスボート泊。

第3日 ムガール風の庭のあるチシマシャイ,木造回教寺院などスリナガール市内観光。湖に浮かぶホテル,ハウスボート泊り。

第4日 草原の町ユスマルグへ。バンガローまたはテント泊。

第5日~第6日 川の美しい山岳地パハルガムで遊ぶ。マス釣りができる。

第7日~第8日 高原と氷河そしてラダックへの入口ソナマルグへ。 馬で氷河末端までトレッキング。レストハウスまたはテント泊。

第9日~第10日 標高3,000mを越すゴルフ場のある花のグルマルグへ。ナンガパルバットが見える。レストハウス泊。

第11日 スリナガールから空路ニューデリーへ。

第12日 ニューデリー半日観光。午後は買物など自由にお過し下ざい。

第13日 ニューデリー発ホンコンへ。

第14日 ホンコン発東京着。通関後解散。

出発日 8月8日 期間14日間

募集人員 20名

締切日 出発2か月前

費 用 389,000円

(上記期間内にラダックを訪れることもできます。割増金20,000円)

小チベット・ラダック

大ヒマラヤに囲まれたチベット高原の一部にラダックがあります。悠然と草を食べているヤクややぎの群れ、天を突いて建てられたラマ教寺院や王宮、ラダック帽をかむった昔ながらの生活をしている村人、まさに中央アジアの奥地チベットです。昔から多くの冒険者、研究者のあこがれのまとでした。

日程(28日間) 出発日 51年 7月25日

第1日 東京より空路ニューデリーへ。

第2日 ニューデリーより空路スリナガールへ。

第3日 スリナガールで出発準備。ハウスボート泊。

第4日 スリナガールから約190 Kmのドライブでカ ルギルへ。ロッジまたはテント泊。

第5日 ラダックの町レーに着く。ロッジ泊。

第6日 バザール見物,僧院見学などレーの市内観光。

第7日~第10日 ラマ教のへミス大寺院,ティクセの ラマ寺などレーの周辺をジープで観光。

第11日~第23日 自由行動。ラダックの奥地やザスカールへのトレッキング、5,000m級の雪山へのトレッキングなどをご自由にお楽しみ下さい。

第24日 バスにてスリナーガル着。ハウスボート泊。

第25日 スリナガールより空路ニューデリーへ。

第26日 ニューデリーにて半日市内観光。

第27日 ニューデリーより空路ホンコンへ。

第28日 ホンコンより空路羽田空港着。通関後解散。 第1日目より第10日目までは現地でガイドがついてお世話します。第11日目の昼食から第24日目の昼

食までは一切参加者の責任で行動して下さい。費用も経費に含まれていません。第24日~第27日はガイドがつきます。ラダックは標高が4,000m近くあり、また日射が強く、風景も荒涼としていますので、生活条件はよくありません。健康にはよくご注意下さい。

出 発 日 51年7月25日 期間28日間

募集人員 20名 締切日 出発2か月前 曹 用 386,000円

ザスカール

スリナガールを出発しカルギルまたはレーを起点として、ラングダムゴンパ、カンギラ、ヌンクンの名峰附近など、4,000mから5,000m位の峠を踏破するコースは、価値あるものといえます。

出発日 51年8月8日 期間28日間

募集人員 20名 締切日 出発2か月前 費 用 356,000円

ラダックコースの第5日目または第6日目から第24日 目までの自由行動はご自分でコースをきめて下さい。 コースについては打合せ会で詳しくアドバイス致します。

アフガニスタンの旅

あのシルクロードの一端を探るこの旅は、青い 湖バンデアミールとその周辺に点在する多くの古 代遺跡を見学することができます。

日程(14日間) 出発日 51年8月8日

第1日 東京より空路ニューデリーへ。

第2日 デリーより空路カブールへ。

第3日 カブールにて終日自由行動。

第4日 カブールよりマイクロバスでウナイ峠を 越えバーミアンへ。

バーミアンよりバスで美しいバンデアミ 第5日 ール湖、そしてシャリゴルゴラの丘を訪

第6日 パーミアンよりシバル峠を越えクンドウズへ。

第7日 クンドウズ見学後、プリホムリ経由、ス ルフコタール、タクティロスタム遺跡見 学、そしてマザリシャリフへ。

マザリシャリフ郊外のバルフ遺跡見物。 午後自由行動。

第9日~第10日 マザリシャリフよりバーミアン 経由、カブールへ。

第11日 カブールにて半日市内観光をして午後は ショッピングをお楽しみ下さい。

カブールより空路デリーへ。ホテル着後 第12日 自由行動。

デリーより空路ホンコンへ。 第13日

第14日 ホンコンより空路東京へ,通関後解散。

出発日 51年8月8日 期間14日間 募集人員 20名 締 切 日 出発の2か月前

費 用 398,000 円

ルマとダージリン

東部ヒマラヤの一端を東側と西側より触れるこ とができる興味深いツァーです。

日程(14日間) 出発日 51年12月26日

第1日 東京より空路バンコックへ。

第2日 バンコックより空路ラングーンへ。

第3日 ラングーン滞在、シェーンパゴダ(お寺) など市内観光。

第4日 ラングーンより空路, 古都パガンへ。

第5日 パガン市内見学。

パガンより空路、マンダレーへ。 第6日

第7日 マンダレー滞在。

第8日 マンダレーより、空路ラングーンへ。

第9日 ラングーンより、空路カルカッタへ。

第10日 カルカッタより、空路バグドグラ。

第11日 ダージリン市内観光。

第12日 バグドグラ,タイガーヒルよりカンチ ンジュンガ遠望。

第13日 ダージリンより、空路カルカッタ。

第14日 カルカッタより、東京へ、通関後解散。

出 発 日 51年12月26日 期間14日間。

募集人員 20名 締 切 日 出発2ヶ月前

費 用 363,000円

HAAJ 創立 IO 周年記念 ヒマラヤ・ファミリー・ツアー!!

日本ヒマラヤ山岳協会は昭和51年で創立10周年となります。そこでこれを記念してカシミール,ラダック,ガ ルワル,ネパールへ特別企画のツァーを計画しました。費用もできる限り安くし,遠征やトレッキングのベテラ ンがお伴し、お世話しますので、このチャンスにぜひ家族連れで美しいヒマラヤを訪れましょう。子供のための 計画も組んであります。

・カシミール,ラダック。≪特別コース アフガン(14日間), ザスカール・ラダック(28日間・7月25日発)≫ ・ネパール, ガルワル。≪特別コース ビルマとダージリン(14日間), ネパール(28日間)≫

日

このパンフレットの各地区へのトレッキ ングとほぼ同じものですが詳しくは追っ て発表します。

募集人員

カシミール, ネパール, ガルワル(14日間) 大人各40名,子供20名

特別コース 大人各20名 アフガニスタン, ビルマ(14日間)

ネパール, ザスカール, ラダック(28日間)

参加資格

このツァーはツァー出発6ヵ月前の時点 で日本ヒマラヤ山岳協会の会員である人 のみしか参加できません。

入会金2,500円会費4,000円(年額)を払い 込んで下されば誰でも会員になれます。 入会に関するお問合せは……

〒468 名古屋市天白区一つ山1-44-7 日本ヒマラヤ山岳協会名古屋事 担当 務所へ 沖 允人 電話(052)801-4414 用

カシミール, ラダック・コースは 353,000 円, 子供(12 才以下) 225,000 円。 ネパール,ガルワル・コースは333,000 円, 子供 210,000 円。その他同一家族から 3 人以上参加の場合の家族割引もあります。 (3人目から10%引)特別コースは別料金。 なお,上記費用は51年1月1日を基準 にしております。日程の変更, 航空運賃 の変更などにより値上りする場合もあり ますのでど了解下さい。参加に関する参 考事項は別項をで参照下さい。

申込金

1人50,000円 (申込金を払われた人から 順に受付け定員になりしだい〆切ります) 〒164 東京都中野区中央 3丁目45番18号 沢本ビル1階 日本ヒマラヤ山岳協会 「ヒマラヤの旅」係・(株) フロンティア 担当 鈴木 康志 電話(03) 365-2162 または(株)トラベル日本 担当 外ノ池愉平 電話(03) 574-0241

二 HAAJツアー申込者の方へ ===

HAAJヒマラヤツアーにお申込みいただいた方は下記のように旅行手続をはじめますので、「渡航手 続のためのお伺」(用紙はご請求下さい)にご記入の上,写真10枚,戸籍抄本 1 通をそえて(パスポートを 取得済の方は写真は6枚とパスポートを書留でお送り下さい)「トラベル日本」へお送り下さい。

- ◎ 旅行手続に関して不明の点は「トラベル日本」へお問合せ下さい。
 - 〒 100 東京都千代田区有楽町 2-2-1 ラクチョウビル 5 館
 - 電話 03-574-0241 ㈱ トラベル日本 係一外池愉平
- ◎ 打合せ会,保険の申込,現地事情など日本出発以後のことに関するお問合せは下記へお願いします。 〒 164 東京都中野区中央 3 丁目 45-18 沢本ビル 1 F

ツアー係(鈴木康志) 日本ヒマラヤ山岳協会

電話番号 03-365-2162 (金,土,13時~20時)

◎ 旅行申込金(5万円),保険料(各自で計算して下さい)。ビザ代(1件3,000円)。パスポート取得手続 費(5,000円)。個人用ドル購入(1ドル310円で計算して下さい。後程精算します),旅行経費など送金は すべて、三菱銀行 中野駅前支店 普通口座 口座名「ヒマラヤの旅」 番号 4267915番

または、郵便振替 東京 6-164655 「日本ヒマラヤ山岳協会」

へ送って下さい。全国どこの郵便局または銀行から僅かの手数料で確実に振込めます。なお、送金の 内訳を送金後、日本ヒマラヤ山岳協会ツァー係へお知らせ下さい。

なお, 打合せ会はツァー出発日の約1カ月前におこないます。

ニトレッキング用海外旅行保険のご案内 二

万一, 旅行先である異国の土地で, けがをしたり病気になったりしたらどうしたらよいでしょうか? そんなときお力になれるのが海外旅行保険です。しかし,ふつうの保険ではトレッキング中の事故は保 険の対象となりません。そこでおすすめしたいのが、「トレッキング用海外旅行保険」です。この保険 は、トレッキング中をふくむ旅行期間中のケガや病気による医療費、死亡金をお支払いいたします。安 心してトレッキング・ツァーに出発なさるために、ぜひこの保険にご加入なさるようおすすめいたしま す。ただし、ザイル、ピッケル、アイゼンなどを使用する登山行動中の事故はカバーいたしません。自 由行動を含むトレッキング・ツアーの場合(例えば自由トレッキング)は自由行動中の日程,コースなど を明記した計画書を2部そえて出発1カ月前までにお申込み下さい。コースによってはおひき受けでき ない場合もありますのでお含みおき下さい。

なお、保険料はタイプおよび期間で決ります。3タイプのうち1タイプをお選び下さい。申込書(H AAJ東京事務所にあり)の「旅行目的」の欄に「Trekking」とタイプ名(A, B, C)をお書き下さい。

		Aタイプ	Bタイプ	Cタイブ
傷	死亡・後遺障害	500 5円	1,000 5円	2,000 万円
害	傷害治療実費	200 万円	250 5円	300 5円
疾	疾病治療実費	200 5円	250 万円	300 5円
	疾病死亡	500 5円	500 万円	500 5円

※なお、保険期間の数え方としては、初日は算入 しません。たとえば11月20日から11月24日まで の旅行ですと、保険期間は4日間。

Aタイプ	Bタイプ	Cタイプ
12,150円	18,910円	30,760円
12,650円	19,610円	31,760円
12,960円	20,020円	32,320円
13,510円	20,820円	33,520円
13,920円	21,330円	34,180円
14,490円	22,160円	35,410円
14,740円	22,510円	35,910円
	12,150円 12,650円 12,960円 13,510円 13,920円 14,490円	12,150円 18,910円 12,650円 19,610円 12,960円 20,020円 13,510円 20,820円 13,920円 21,330円 14,490円 22,160円

I-IAAJ ヒマラヤ集会 予定 詳しくは毎月の「ヒマラヤ」で予告します

- 毎月, 第1,第4金曜日, 18時30分~ HAAJ東京事務所 東京 定例
- 毎月,第2金曜日,18時30分~ 名古屋駅西,地産マンション 404号 名古屋定例
- 毎月,第1月曜日,18時頃から 札幌市北1西4喫茶「ねむの木」 北海道定例
- 6月26~27日(日) 宇都宮市「みくら山会館」 参加費 7,000円位 ■第6回日本ヒマラヤ研究会 申込先 〒321-32 宇都宮市垱山町119 舘野秀夫
- ■秋のヒマラヤ集会 八ケ岳山麓 10月9~11(祭) 申込先 HAAJ 名古屋事務所 9,000円位

ヒマラヤの本・資料

ヒマラヤ関係のものが出版されましたら紹介しますので、名古屋事務所へ1冊お送り下さい。

書名・発行年など	著	名・発	行所な	ど	頒価	送 料
ミルサミールからファラクサールへ 1970年	名城	大学ヒマ	アラヤ調	直隊	600円	100円
カシミールとラダック 1974年		/	,		900	100
第3回東北ヒマラヤ研究会報告書 ヒマラヤ研究[20]	H	A	A	J	1,400	200
EXPEDITION I ヒマラヤ研究XI		//	,		2,000	200
ネパール・ヒマラヤの旅報告書 ヒマラヤ研究Ⅲ		//	,		1,200	200
秘境小チベット・ラダック (地図つき)		"	,	//	2,400	300
第2回東北ヒマラヤ研究会報告書 ヒマラヤ研究Ⅳ		"	•		1,100	200
HAAJガンジロバ隊帰国報告書		"	,		300	0
海外登山研究会資料 N マカルー交信記録,他	J	A		С	1,000	200
東海山岳 II		"	,		800	100
東海山岳Ⅲ		"			2,500	200
チベットとラダック	Н	A	A	J	1,000	200
カシミールの街と山 ネパールへの旅		"			各 600	100
ヒマラヤの桃源境,ブータン・シッキム・アッサム		"			2,200	300
ヒマラヤを歩き登るために、第4,5回東ヒマラヤ研報告		"			2,400	300

「ヒマラヤ通信」「ヒマラヤ」バックナンバーは下記のものしか残部がありません。

第1号(20円), 第2号(20円), 第9号(50円), 第17号(150円), 合本製本用表紙(200円), 第20~第50 号(ただし, 27, 35, 36, 38, 39, 42は品切)。各送料共300円に割引。会員のみにしかお分けできません。 東京・名古屋事務所,エア・インディア名古屋営業所(名駅前ホテルニューナゴヤ 747 号室)へ取りに 来ていただけると送料分だけ安くなります。下記書店でも扱っています。各地で開くヒマラヤ集会にも できるだけ持参します。注文は先着順に受付。通信での申込は代金を添えて下さい。

〒468 名古屋市天白区一つ山1-44-7 HAAJ名古屋事務所。郵便振替 名古屋 21645番 銀行振込 東海銀行鳴子支店 133-239番「日本ヒマラヤ山岳協会」

郵便振替振込用紙はどこの郵便局にもあります。送金料も安くて便利です。ご利用下さい。

~~~ HAAJ出版物特約取扱書店 ~~~~~

HAAJ出版物は下記の書店で扱ってもらっています。山の本を多くそろえ、親切にサービスしていた だける書店です。HAAJの本だけでなく、本のことなら何でも相談し、利用して下さい。

〈取扱い店名〉 京都…京都市下京区四条河原町東81 海南堂

東京…千代田区神田駿河台2-1

仙台…仙台市一番町2-3-32 名古屋…千種区千種駅前

札幌…中央区南3条西3丁目4番街

広島…広島市本通1-7 (金座街)

岐阜…岐阜市神田町通り4

茗溪堂(お茶の水駅前)

丸善仙台

ちくさ正文館

成美堂(札幌駅前通り)

アカデミィ書店

自由書房

福岡…福岡市中央区天神2丁目9-110 福岡金文堂(新天町)

<HAAJ東京事務所へのルート> 国電中央線中野駅南口下車。三菱銀行の左側の南口商街を抜け、中野総 合病院と中野郵便局の間の斜めの広い通りを左へ入ります。途中「公会堂下」のバス停を通過し(ここ まで中野駅、永福町、渋谷、新宿よりバスの便がある) 400 m位進むと左角に自動車屋があり、そこを 右へまわって 200 m行った右側に「沢本ビル」があります。中野駅からゆっくり歩いて15分ほどです。 HAAJ事務所はその1階です。金曜,土曜日の13時~20時まで担当の鈴木康志がいます。

<HAAJ名古屋事務所へのルート> 地下鉄「新瑞橋(あらたまばし)」下車。島田方面の循環線90番のバ スで「一つ山住宅口」下車。たばと屋を左にまわり、小川病院を通りぬけ、つきあたりの道を右にまわっ た3軒目,「沖」方です。

-23-

みんなのヒマラヤ||||||||||||||||日本ヒマラヤ山岳協会(HAAJ)

入会のおすすめ

日本ヒマラヤ山岳協会は下記のような主旨に基づき、各種の行事を計画しております。わが会の主旨にご賛同いただき、日本ヒマラヤ山岳協会の会員に加わっていただきたくご案内申し上げます。入会申込書に必要事項をご記入の上、入会金・年会費をそえて名古屋事務所までご送付下さればすぐ、会則その他参考資料をお送りいたします。年令・性別・経験を問いません。

名古屋事務所 ▼ 468 名古屋市天白区一つ山1丁目44-7

-----日本ヒマラヤ山岳協会々則(抜すい)-----

第3条 本会はヒマラヤをあらゆる分野において理解し、その活動を基にしてヒマラヤ地域の国と日本 の文化交流と協力および親善に寄与することを目的とする。

第76条 会員を分って下記の二種とする。

(1) 普通会員, 入会金 2,500円および会費 4,000円を納める者。ただし夫婦会員の入会金は3,000円とする。

カトマンズ 事務所 C/O Express House, P.O. Box 18339 Kathmandu NEPAL 東京事務所 東京都中野区中央 3 丁目45-18 沢本ビル 1 F

HAAJの実績

- A ヒマラヤの旅・トレッキング、ヒマラヤ登山・調査隊……ネパール、アフガニスタン、カシミール、パキスタンなどへ年 $1\sim 2$ 回 HAAJ HIMALAY AN EXPEDITION, TOUR として送り出している。
- B 研究会活動

ブータン研究会、Expedition研究会、チベット研究会、 ラダック研究会、ワハン研究会、 東部ヒマラヤ研究会があり、その地域を訪れることを目的とした実践的研究を小グループでおこなっている。

C ヒマラヤ関係資料の出版(主として会員有料配布用)

「ネパール王国旅行案内」「カトマンズとその周辺」「エベレストの麓へ」「ネパールの旅」「第1回東北ヒマラヤ研究会報告書」「トレッキングのすべて」「ネパール、ヒマラヤ、トレッキング」「第2回東北ヒマラヤ研究会報告会」「ワハン研究」「ブータン研究」「チベットとラダック」「カシミールの山」「Expedition I」「カシミールの街と山」「秘境小チベット・ラダック」「ヒマラヤの桃源境」「第3回東北ヒマラヤ研究会報告書」「ヒマラヤを歩きそして登るために」など多数。

- D 会員の利点
 - a ヒマラヤの旅、調査隊、登山隊に参加できる。日本山岳協会に東京都山岳連盟より加入している。
 - b ヒマラヤ資料の入手,あっせん。会報「ヒマラヤ」の無料配布(毎月1回発行)
 - c ヒマラヤ各地の事務所, 連絡所の利用 (ネパール, カシミール, クル, マナリ, ダージリン, パキスタンなど)
 - d 紹介カードの発行(ヒマラヤ各地の旅行社,有力者,航空会社などに協力してもらえる)ただし, 1年以上在籍の会員に限る。
 - e ヒマラヤ各地のデポ装備の利用 (紹介カード発行者に限る。有料)
 - f ヒマラヤ研究会,集会への優先参加(年20回以上。札幌,東京,名古屋など各地で。無料または 実費)
- HIMALAYAN ALPINE ASSOCIATION OF JAPAN (HAAJ)

一海外トレッキング・登山は専門スタッフにおまかせください



インド大陸、中近東方面へ当社独自のプランをいたしております

ツアー名

- ★シルクロード 6,000キロ
- ★ネパールとアフガニスタン
- ★砂漠の国アフガニスタンと 最後の桃源境フンザ
- ★大ペルシヤとアフガニスタン

-お問い合わせは下記まで-

(株)トラベル日本

〒100 東京都千代田区有楽町 2-2-1 ラクチョウビル5F 電話 (03)572-1461 担当—— 昇港・永瀬・月候・小島

海外登山,トレッキングに傷害保険を

海外旅行傷害保険(運動危険担保特約付)について研究しております-

産業にご相談して下さい!

あなたの所得を補償する保険をご存じですか? (所得補償保険) ● 所得補償1~5年、傷害特約60~120倍までいろいろあります

自動車・火災・レジャー(山岳保険・国内旅行・つり・ゴルフ・ヨット)・普通傷害・利益 ・生産物等の私達の生活に関連した保険を取扱っています。岳産業の西田までご連絡下さい

大正海上火災 大阪市淀川区西中島町5丁目第3チサン10F6号 〒532 TEL 06 [304] 1 1 1 5番
・ルスノトキ=大正海上十三営業所 304-5774 保険(株)代理店 缶

EXPRESS TREKKING

トレッキングからエクスペディション まで全て引き受けます。

装 備 貸 出 ・ シェルパ 斡旋 ・ 現地食料調達 国内外輸送手配・別送貨物通関・ヒマラヤ情報……

EXPRESS TREKKING(P) LTD. EXPRESS HOUSE

NAXAL BHAGABATI BAHAL
P.O.BOX 339 KATHMANDU NEPAL
電略 GREATREK·KATHMANDU TEL.13017

EXPRESS HOUSE

カトマンズの宿泊は EXPRESS HOUSE をご利用ください。

家庭的なムードで宿泊代も安く気軽に泊れる宿です。 特に日本のお客様には大浴場が好評です。自炊もで きます。 宿泊代 1 泊朝食付30RS から ※長期滞在者はご相談に応じます。

日本語でお問い合せください

編 集 「ヒマラヤ」編集委員会発行者 柴 田 金之助発 行 日本ヒマラヤ山岳協会

東京事務所名古屋事務所

☞一六四 東京都中野区中央三丁目四十五-十八 沢本ビ☞四六八 名古屋市天白区一つ山一-四十四-七 昭和五十一年二月一日発行 通巻第五十一号

■○三-三六五-二一六 ■○五二-八〇一-四四一 定価 五〇〇円・送料七〇